

令和6年度
「博物館機能強化推進事業(専門的
人材派遣による博物館支援と職員の
資質向上に関する調査研究)」
説明会資料

2024/09/12



Agenda

- | | | |
|----|------------|----|
| 1. | 開会のご挨拶 | 03 |
| 2. | 本説明会の趣旨・目的 | 05 |
| 3. | 本事業の内容 | 09 |
| 4. | 応募方法 | 31 |
| 5. | 質疑応答 | 37 |

1

開会のご挨拶

1. 開会のご挨拶

文化庁参事官（文化拠点担当）付
博物館支援調査官 中尾 智行 様

2

本説明会の趣旨・目的

2. 本説明会の趣旨・目的

本事業における応募開始を前に、各博物館の皆様の本事業を正確に理解していただくことが最大の目的

- **本事業における支援内容**とともに、本事業の位置づけについても説明いたします。
- 博物館または博物館関連団体等／専門家／事務局の**役割と関係性**を明確にいたします。
- **専門家派遣フロー**を説明し、各フェーズにおける注意点や必要な作業等についてもご説明いたします。

2. 本説明会の趣旨・目的


博物館に求められる役割の多様化・高度化を受け、博物館法が改正され、博物館運営は転換期に

博物館を巡る国内動向

- まちづくり・国際交流、観光・産業、福祉等の関連機関との連携（文化芸術基本法）
- 地域文化財の計画的な保存・活用の促進（文化財保護法）
- 文化観光拠点施設としての役割（文化観光推進法）

国際的な潮流

- 「文化をつなぐミュージアム」として社会的・地域的課題と向き合うための場（ICOM京都大会）



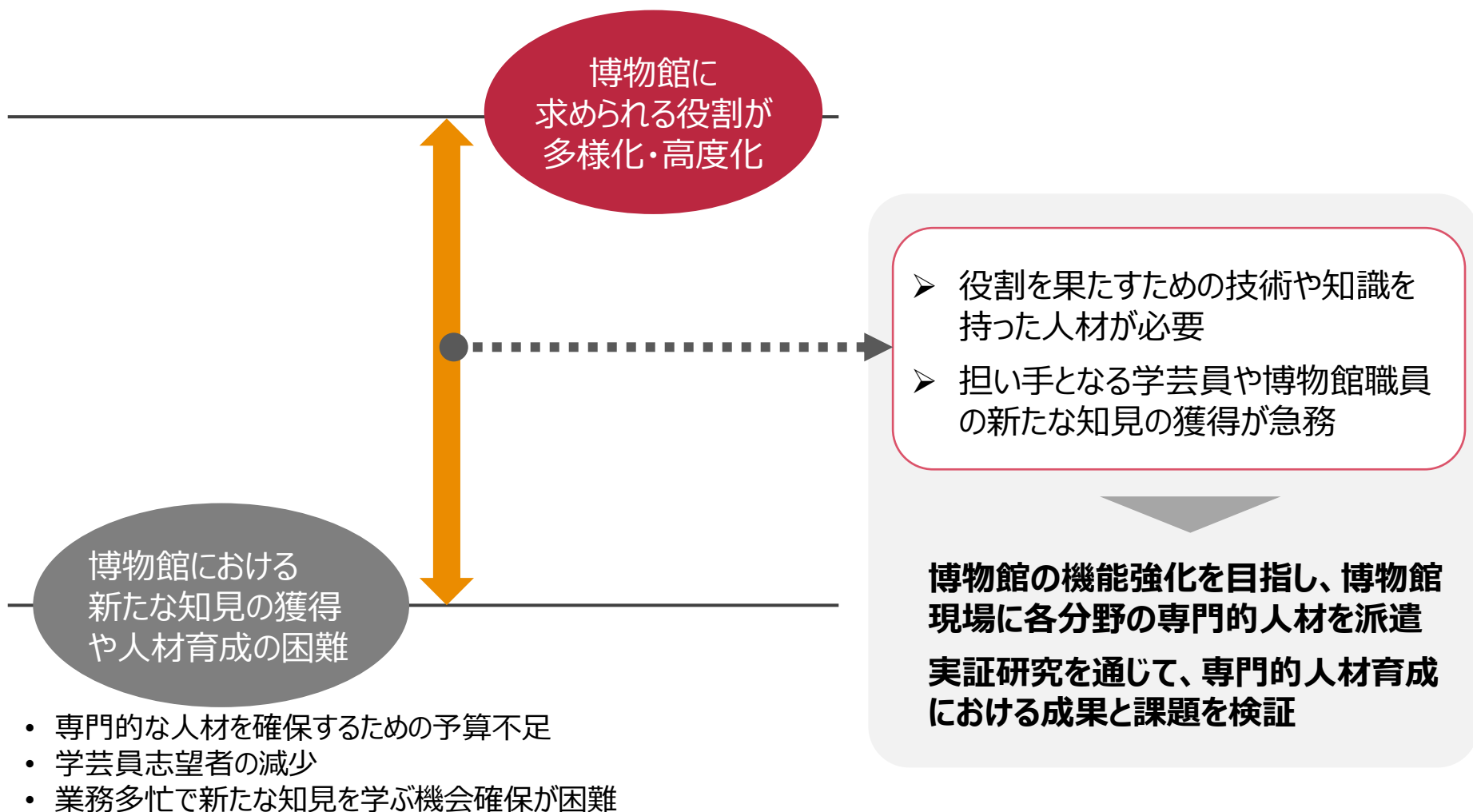
博物館に
求められる役割が
多様化・高度化

博物館法の改正

- デジタル・アーカイブ化が博物館事業に
- 文化観光への寄与が努力義務化
- 博物館登録制度の設置要件緩和 等

2. 本説明会の趣旨・目的

博物館が求められる役割を果たすうえでは、担い手となる学芸員や博物館職員の皆さまの新たな知見・ノウハウの獲得が急務



- 専門的な人材を確保するための予算不足
- 学芸員志望者の減少
- 業務多忙で新たな知見を学ぶ機会確保が困難

3

本事業の内容

3. 本事業の内容

本事業は、専門家派遣による博物館支援の有効性検証や課題識別を行う実証検証事業という位置づけ

目的

博物館の役割が多様化、高度化している現状において、その役割を果たすための技術や知識を持った人材が不足していることが課題となっているため、学芸員等の資質向上を図るため、博物館の現場に各分野の専門的人材を派遣し、実証事業を通じ博物館における多様な専門的人材養成の調査を行う。

専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究

目的

博物館の役割が多様化、高度化している現状において、その役割を果たすための技術や知識を持った人材が不足していることが課題となっているため、学芸員等の資質向上を図るため、博物館の現場に各分野の専門的人材を派遣し、実証事業を通じ博物館における多様な専門的人材養成の調査を行う。

事業概要

・デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供

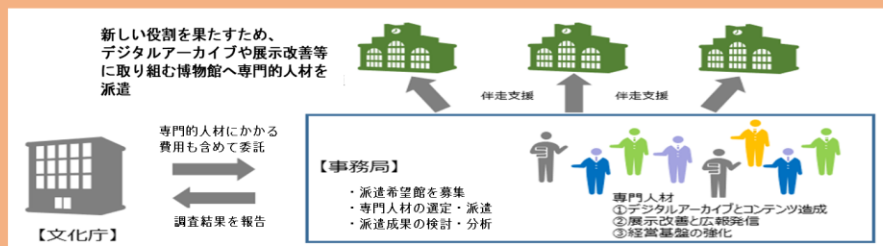
博物館におけるデジタルアーカイブの作成やDXに資するような整備、資料の価値や魅力を伝えるためのコンテンツ造成などに取り組む内容など

・展示や広報発信の改善を行うための支援、知識・技術の提供

観光来訪者への対応や、これからの博物館に求められる社会的価値形成のための、楽しく理解を深めることができる展示や広報発信の改善を行う取組

・ファンドレイジング活動支援、知識・技術の提供

多様な博物館支援を集め、博物館活動の充実に繋げるためのファンドレイジングの取組



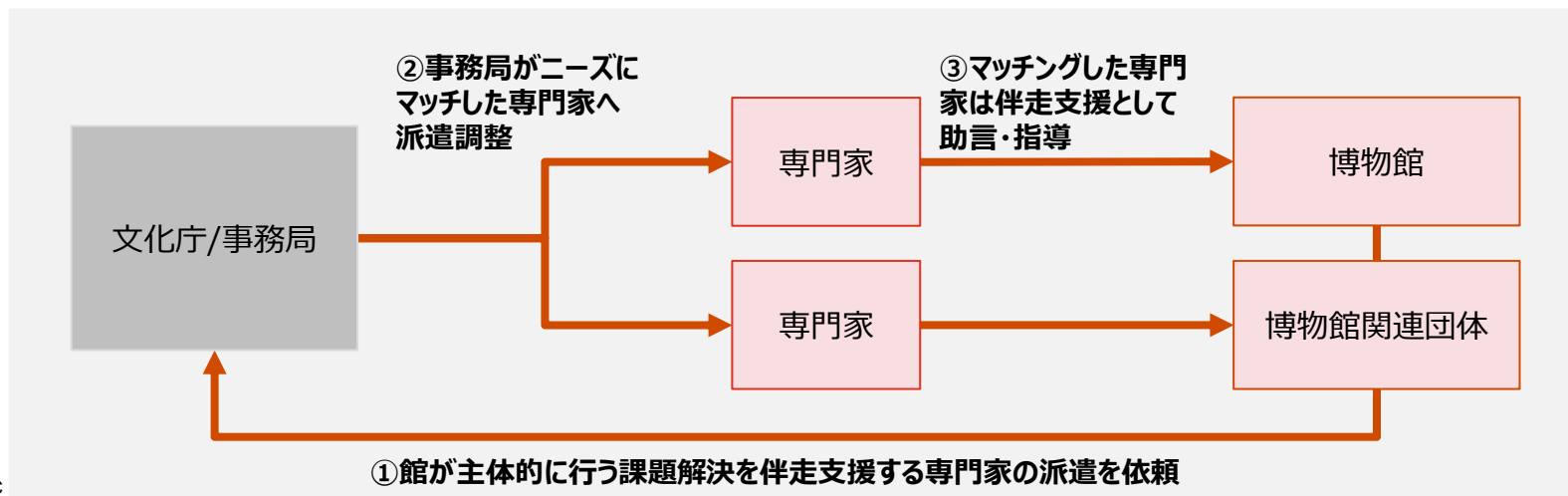
出典：文化庁HP 令和6年度全国博物館長会議（第31回）資料「これからの博物館に求められる役割」

3. 本事業の内容

全国の博物館が抱えている館毎の課題に対応可能な専門家を派遣し、伴走型の支援を実施

本事業で取り組むべきこと

- 全国の博物館の多くは、前述のとおり、人員、予算や課題解決に必要なノウハウの不足、またその不足からくる学芸員の慢性的な業務多忙などを理由として、課題を認識しながらも真正面から取り組むだけのリソースが無いというジレンマに陥っています。
- そこで、自ら課題を認識しながらも人員、予算やノウハウ不足などの理由により取り組めていない博物館に対して、その課題解決の専門家を本事業において派遣し、館の主体的な取り組みに対して伴走しながらの支援を実施いたします。

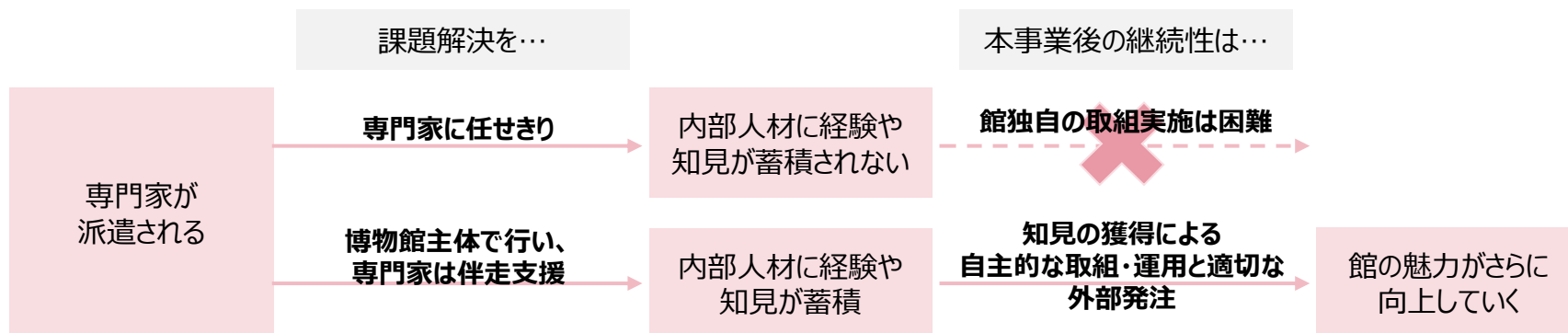


3. 本事業の内容

本事業での課題解決の主体を専門家ではなく博物館側とすることで、本事業後も各館での継続的取組が可能

本事業を実施していく上で最も注意するポイント

- 本事業を一過性のものとしないうためには、派遣を受け入れた各博物館において、専門的な知見や技術の獲得による人材養成が進むことが何より重要であるものと考えています。
- そのため、本事業において派遣される専門家の役割はあくまで伴走支援であり、専門的な知見や技術の共有です。各館における課題解決の主体は博物館であり、専門家による伴走支援をうけることで、いわばOJT（On The Job Training）のように人材育成を促進することが目的です。



3. 本事業の内容

先行事例：博物館法改正に伴い新たに博物館事業として位置づけられた「博物館資料のデジタルアーカイブ作成と公開」に資するテーマ



画像：飛騨市提供

名称	飛騨みやがわ考古民俗館
所在地	岐阜県飛騨市
来場者数	753名（2022年）
館種	郷土
設置者	市町村
法区分	博物館類似施設
課題	<ul style="list-style-type: none">民間の任意団体関係者が博物館資料のデジタル化を進めていたが、飛騨市でオープンデータ化を進めることになり、活用のあり方について見直す必要が生じた公開されている情報の使用ポリシーや責任の所在等の検討が十分ではなかった
支援概要	<ul style="list-style-type: none">総務省地域情報化アドバイザー制度で、DXに関する専門家を3日間受け入れ、オープンデータ化に向けての支援を受けた

3. 本事業の内容

先行事例：博物館法改正に伴い新たに博物館事業として位置づけられた「博物館資料のデジタルアーカイブ作成と公開」に資するテーマ

① 支援の内容（詳細）

- 1日目：2022年6月
市職員2名でオープンデータ化に関するオンライン講義を受け、博物館の現状について共有した
- 2日目：2022年11月
市職員と、オープンデータ化の作業を進めていた民間の任意団体関係者が参加し、オープンデータ化を進めるために必要な事柄を対面の講義で学ぶ
- 3日目：2023年2月
講義を受けて、今後の施策を市職員が検討し、専門家と議論を行った

② 博物館側が取り組んだこと

- 支援開始前にデジタルアーカイブを取り巻く**現状（データ分量、形式、データ保有者、著作権の状況等）を整理した**
- 2回目の講義の内容を踏まえて、オープンデータ化に関して**市が目指すべき方向性について検討・議論を重ねた**

3. 本事業の内容

先行事例：博物館法改正に伴い新たに博物館事業として位置づけられた「博物館資料のデジタルアーカイブ作成と公開」に資するテーマ

③ 支援を受けて得られた直接的な効果

- オープンデータ化をどのような道筋を経て進んでいくべきか、**検討・実施すべき事柄を明確にすることができた**

④ 支援を受けて得られた間接的な効果

- オープンデータ化を進めたことで、オンライン上で閲覧した資料を実際に見てみたいと**入館者数が市町村合併後の直近20年で最高となった**
- 取り組みを博物館関係者や行政に評価され、市の中で**博物館に対する評価が向上し、予算を獲得しやすくなった**
- 予算を付けられたことで、**インターネット回線敷設が実現し、IoTを利用した無人開館、収蔵物の多言語AR解説表示**等を外部企業のサービスを活用して実現することができた

⑤ 成功のポイント (事務局分析)

- 事業応募時に博物館側で課題が明確になっていた
- 担当者が事前準備や、講義を受けての検討を丁寧に行っていた
- 文化財のデジタルアーカイブ化の知見を有する専門家が派遣された
- 市として、担当者の意思を尊重して挑戦させてくれる風土があった

3. 本事業の内容

各館における主体的な課題解決に向けた取り組みを伴走支援 することができるように事業を設計

項目	内容	詳細
事業期間	2024年10月中旬から2025年2月末まで	P.17
募集期間	2024年9月15日（日）から2024年9月29日（日）まで	P.17
支援 スキーム	（該当ページを参照）	P.18 -19
支援テーマ	①デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供 ②展示や広報発信の改善を行うための支援、知識・技術の提供 ③ファンドレイジング活動支援、知識、技術の提供	P.20 -23
対象館	博物館等…30施設 ➢ 館種・規模は問いません。 博物館関連団体等…5団体 ➢ 地域の博物館協会や館種別団体・ネットワーク、または複数の館と連携した地域の中核的な位置づけを担う館（中核館）が対象 ➢ 加盟または連携する博物館に対する全体的な研修の実施や、各館における伴走支援について取りまとめを行うことを想定しています（ただし研修実施等だけでは不可）	P.25
レベル	解決に向けて高い専門性を必要とするものから汎用的なノウハウで足りるものまで幅広く想定	P.26
支援日数	博物館等 ➢ 1施設最大3日間まで派遣可（現地派遣のほか、オンラインでの支援も含まれます） 博物館関連団体等 ➢ 1団体最大15日間まで派遣可（現地派遣のほか、オンラインでの支援も含まれます）	P.27
派遣人数	原則1名（例外的に複数名の場合もあり）	P.28
費用負担	専門家派遣に関する費用は本事業主体が負担（※博物館側に費用負担は生じない）	P.29

3. 本事業の内容

本説明会終了後ただちに募集開始し、10月中旬から2月末までを事業期間として本事業を実施

本事業における想定スケジュール

スケジュールの留意点

2024（令和6）年

- 9/12（木） 説明会開催
- 9/15（日） 事業募集開始
- 9/29（日） 事業募集終了
- 9/30（月） マッチング開始
- 10/14（日） マッチング終了
- 10/15（月） 派遣支援期間開始

事業用HP上に登録用URLを貼付

必要に応じて追加のヒアリングを実施

年度内完了が必須のため期間厳守

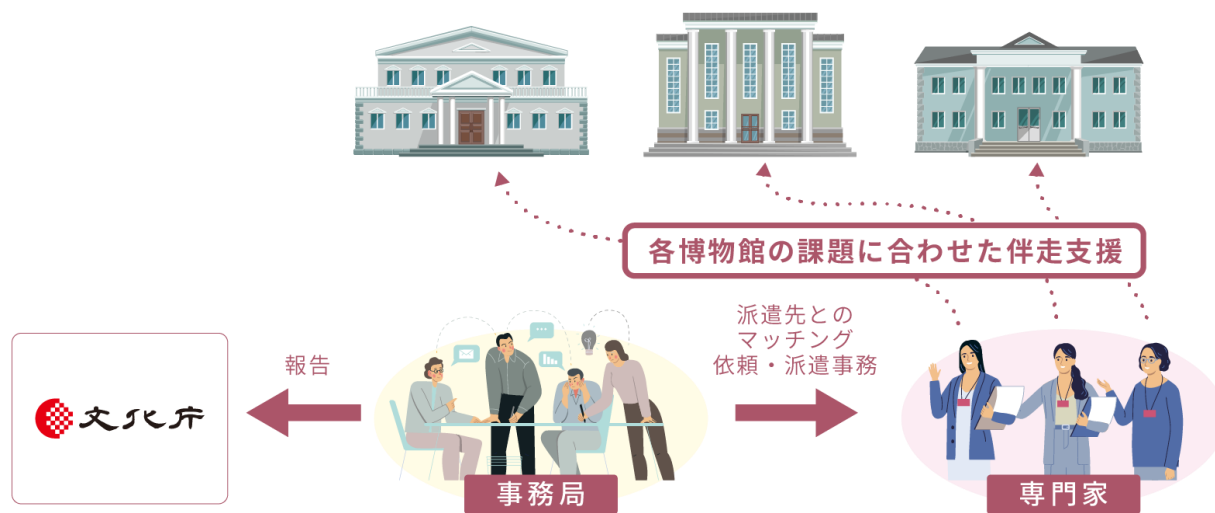
2025（令和7）年

- 2/28（金） 派遣支援期間終了
- 3/31（金） 報告確認手続き終了

3. 本事業の内容

博物館に専門家を派遣し、博物館側が主体的に課題解決していく取組に対して、専門的知見に基づくアドバイスや指導を実施

支援の全体像



博物館に対する伴走支援の具体的なイメージ

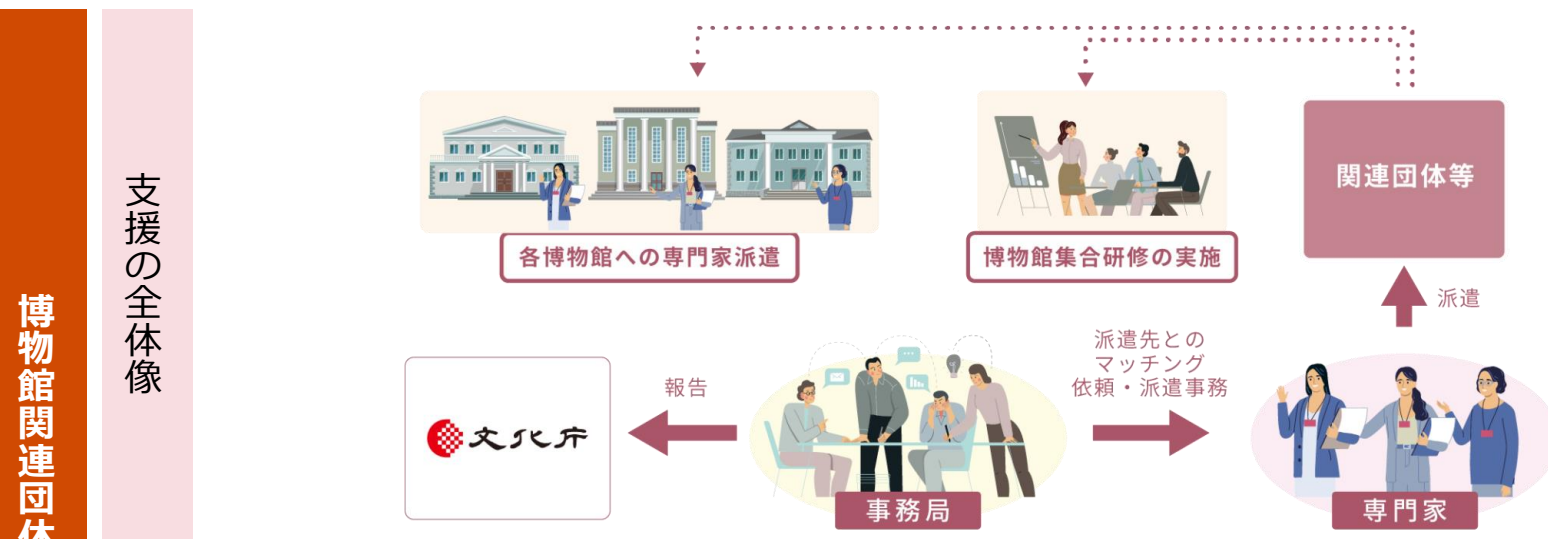
- 本事業で各館が抱える課題を解決する主体は博物館の皆様です。
- 各テーマの専門家は、**博物館が自ら実施する課題解決に向けた取組に伴走し、各館の現状を踏まえて専門的知見に基づいてアドバイスや指導**を実施いたします。
例) 収蔵品のデジタルアーカイブ化に向けて、一般的に注意すべきポイントに加えて館の現状を踏まえた作業手順等のアドバイスを受けて、館自身でロードマップを作成していく
- 伴走支援を受けることで、専門家が課題解決を行う場合と比して、博物館の学芸員や職員等が課題解決に継続的に取り組むためのノウハウとスキルを習得することが可能

博物館等への支援

伴走支援の内容

3. 本事業の内容

博物館関連団体等に専門家を派遣し、同団体を通じて、加盟または連携する館に対して、専門家の派遣及び集合研修を実施



博物館関連団体等に対する伴走支援の具体的なイメージ

- 本スキームでも各館が抱える課題を解決する主体は博物館の皆様です。
- 各テーマの専門家は、博物館関連団体等に派遣されたうえで、以下の支援を実施します。
 - ① **加盟または連携する館が自ら実施する課題解決に向けた取組に伴走し、各館の現状を踏まえて専門的知見に基づいてアドバイスや指導**（例は博物館と同様）
 - ② 中核館に加えて加盟または連携する館まで含めた**集合研修、ワークショップ***1
- 伴走支援を受けることで、専門家が課題解決を行う場合と比して、博物館の学芸員や職員等が課題解決に継続的に取り組むためのノウハウとスキルを習得することが可能

*1 博物館自身が自ら課題解決を行う取組への伴走支援が主対象であるため、**②だけの実施は対象外**

3. 本事業の内容

実証事業としての位置づけである本事業では、博物館の抱える様々な課題のうち、3つのテーマに絞って専門家を派遣

テーマ

デジタルアーカイブ、
コンテンツ造成支援、
知識・技術の提供

展示や広報発信の
改善を行うための支援、
知識・技術の提供

ファンドレイジング活動
支援、知識、技術の提供

各テーマにおける具体的な内容



- 博物館におけるデジタルアーカイブの作成やDXに資するような整備、資料の価値や魅力を伝えるためのコンテンツ造成などの取り組み



- 博物館の持つミッションや目的に沿った効果的な展示や、観覧者の満足度を向上させるための取り組み
- 博物館が有するコンテンツや魅力を最大限伝えるために広報発信の改善を行う取り組み



- 運営資金獲得方法の多角化、特定事業の財源獲得等を通して、博物館活動の充実につなげるための、戦略的かつ持続的なファンドレイジングに関する取り組み

3. 本事業の内容

博物館におけるデジタルアーカイブ作成やDXに資するような整備、資料の価値や魅力を伝えるためのコンテンツ造成を実施

派遣対象となる事業内容	主なカテゴリ	博物館の課題例	
①デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供	デジタルアーカイブの推進	多くの博物館において、資料や目録のデジタル化が進んでおらず、Webサイトでの公開やデータ連携が不十分	デジタルアーカイブの基本的な知見が不足している
			データベースの構築・運用ができていない
			公開用サイトの構築・運用、Japan search等のプラットフォームとの連携ができていない
			著作権や肖像権等の知的財産権の権利処理に関する知識が不足している
デジタルコンテンツの充実	デジタル技術を活用した新しい鑑賞・体験モデルの構築が十分に進んでいない	ICTを導入した新しい鑑賞・体験モデルの企画ができていない	

3. 本事業の内容

博物館のミッションや目的に沿った効果的な展示企画や、コンテンツ・魅力を最大限伝えるための広報発信の改善を実施

派遣対象となる事業内容	カテゴリ	博物館の課題例	
②展示や広報発信の改善を行うための支援、知識・技術の提供	展示の改善	博物館のミッションや目的に沿った、効果的な展示や来館者の満足度を向上させる取組等の企画・運営が十分にできていない	展示資料が持つ多様な価値や魅力を来館者に分かりやすく提供できていない
			情報の取捨選択や、多様な来館者視点で「翻訳」するノウハウが不足している
			ワークショップイベント等の改善や企画・運営、評価検証についての知見が不足している
	広報の改善	博物館が有するコンテンツや魅力を最大限伝えるためのコンテンツ作成や広報発信が十分にできていない	広報全般に関する知見が不足している
			インターネット・SNSを通じた広報や交流活動が十分にできていない
			テレビやラジオなどその他のメディアに適した広報活動が十分にできていない

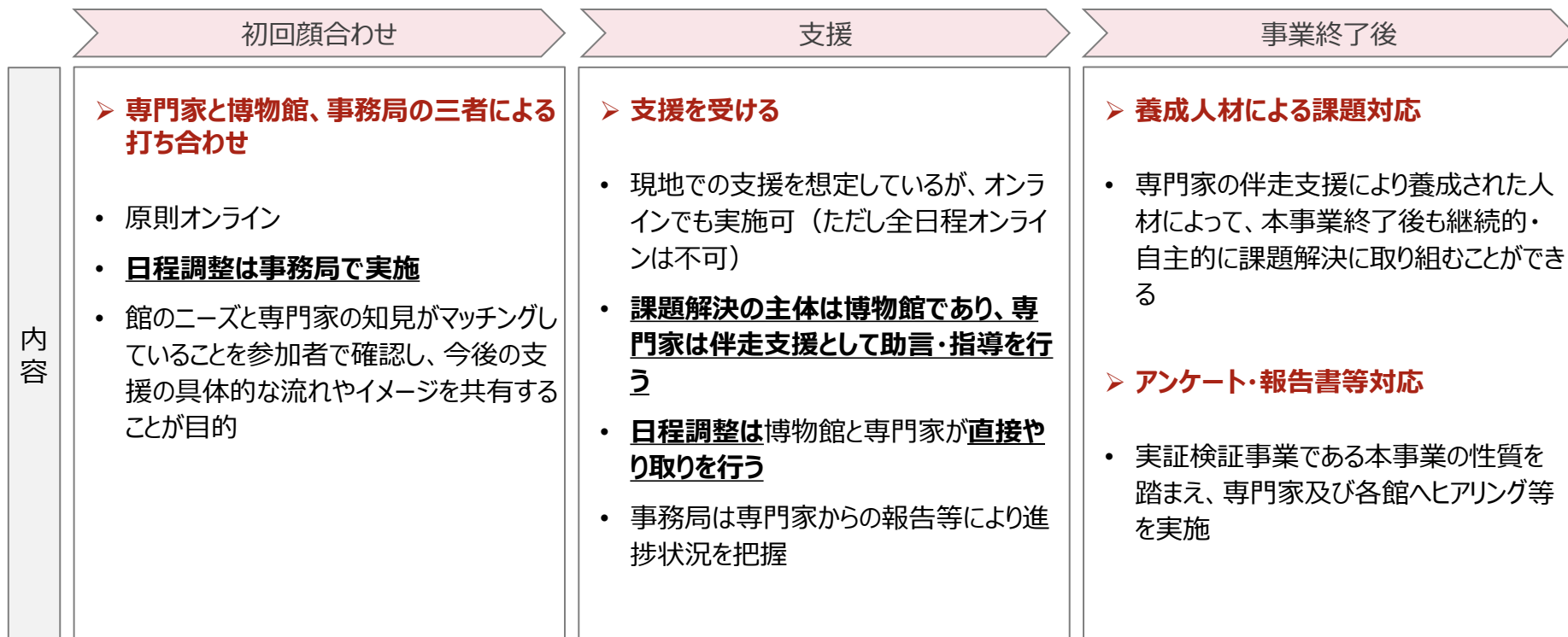
3. 本事業の内容

運営資金獲得方法の多角化・特定事業の財源獲得等を通して、博物館活動の充実に繋げるためのファンドレイジングを実施

派遣対象となる事業内容	カテゴリ	博物館の課題例		
③ファンドレイジング活動 支援、知識・技術の提供	支援の取り付け	個人からの支援を十分に獲得できていない	通常寄付や友の会等のメンバーシップ会費など個人からの支援を十分に獲得できていない	
		民間企業からの支援を十分に獲得できていない	民間企業からの運営支援や協賛等のスポンサーを十分に獲得できていない	
	持続的な資金獲得	ファンドレイジングの各手法の理解と、戦略的かつ持続的な実施ができていない	クラウドファンディングなどの取組が単発的になってしまう	ふるさと納税の活用が十分に行われていない
			遺贈寄附に繋げていくような支援者育成が十分に行われていない	

3. 本事業の内容

採択後は、初回面談まで事務局がセッティングし、その後は専門家と博物館の両者で伴走支援を実施



3. 本事業の内容

本事業では、個別の博物館単位と、博物館協会等や地域の中核館単位の2種類が対象

区分	博物館	博物館関連団体
数	30 施設	5 団体
備考	<ul style="list-style-type: none">館種・規模は問いません。	<ul style="list-style-type: none">地域の博物館協会や館種別団体・ネットワーク、または複数の館と連携した地域の中核的な位置づけを担う館（中核館）が対象加盟または連携する博物館に対する全体的な研修の実施や、各館における伴走支援について取りまとめを行うことを想定しています（ただし研修実施等だけでは不可）

3. 本事業の内容

各テーマにおいて博物館側から寄せられる課題にはレベル感に差が出てくるものと認識しており、幅広くニーズをくみ取る想定

各テーマで博物館側が抱える課題（仮説）



3. 本事業の内容

実証事業でもある本事業では、博物館向けは3日間、博物館関連団体等は15日間を派遣上限日数とし、1日あたり7時間稼働

種類	派遣日数	派遣時間
博物館	<p>1施設最大3日までの専門的人材派遣が可能</p> <ul style="list-style-type: none">- 1回で複数人の専門家を派遣する場合は、派遣した人数分を派遣回数（日数）として計上	1日あたり 最大 7時間
博物館関連団体等	<p>1団体最大15日までの専門人材派遣が可能</p> <ul style="list-style-type: none">- 1回で複数人の専門家を派遣する場合は、派遣した人数分を派遣回数（日数）として計上- 加盟または連携する館へ専門家を派遣する場合には、1施設当たり最大3日を目安として派遣するとともに、1つの館ではなく複数以上の館へ派遣	

3. 本事業の内容

派遣される専門家は原則1名(ケースによっては複数人の場合もあり)とし、支援途中での専門家の交代は不可

- 派遣専門家による支援の実効性を高めるために、支援期間を通じて原則1名で派遣することを想定しています。
- 複数人の専門家を派遣した場合の方が、効率的かつ効果的に課題解決することができる場合は、この限りではありません。

<参考>派遣される専門家の主な業種と専門スキル

※あくまでもイメージであり、実際に各館に派遣される方とは異なる場合がありますのでご注意ください

テーマ	デジタルアーカイブ、コンテンツ造成 支援、知識・技術の提供	展示や広報発信の改善を行う ための支援、知識・技術の提供	ファンドレイジング活動 支援、知識、技術の提供
主な業種	<ul style="list-style-type: none">デジタルアーキビストデジタルアーカイブ事業者 等	<ul style="list-style-type: none">各種メディア関係者コピーライター展示制作に関する事業者 等	<ul style="list-style-type: none">ファンドレイザークラウドファンディング事業者 等
専門スキル	<ul style="list-style-type: none">資料をデジタル化して保存 する専門知識を持つ人材博物館が有する魅力や価 値をデジタルコンテンツ化して いくための人材	<ul style="list-style-type: none">資料の価値や魅力を伝える 解説等の改善や、映像・音 声コンテンツを作る専門知 識を持つ人材	<ul style="list-style-type: none">活動の充実のためのファン ドレイジングやパブリックリ レーションズの専門知識を持つ 人材

3. 本事業の内容

専門家の派遣に必要となる諸経費は事務局において負担するため、博物館側において受け入れに関する経費負担なし

- 専門家派遣に必要となる諸経費（謝金、交通費、宿泊費）については、事務局が専門家とやり取りをして支払うため、博物館側での経費負担はありません。
- 事務局での精算手続き時に、各館の皆様にご確認をいただくことがある点について、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 上記諸経費以外は本事業の経費対象外ですが、ご不明な点がある場合には事務局までお問い合わせください。

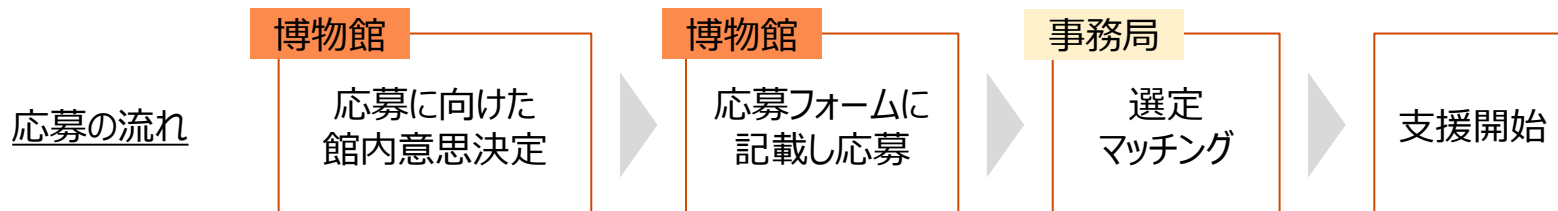
4

応募方法

4. 応募方法

マイクロソフトフォームにより応募していただき、館特有の課題に即した専門家をマッチング

応募概要	内容
目的	主体的な課題解決に伴走支援する専門家の派遣を希望する博物館から、応募選定及び専門家とのマッチングに必要な情報を収集するため
方法	<p>マイクロソフトフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業用HPに「応募」ページを新設し、当該ページにURLを貼付する予定 <p>※事業用HPバナー</p> <p style="text-align: center;"> <small>令和6年度 博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究）</small> <small>更新予定</small> </p> <p style="text-align: center;"> <small>TOP 事業概要 先行事例(後日公開) 説明会 よくある質問(後日公開) お問い合わせ</small> </p>
時期	2024年9月15日（日） から 2024年9月29日（日） まで
備考	応募後に、事務局において選定作業を実施し、事業開始までに採択の可否をご連絡いたします。



4. 応募方法

応募に際しては、各館/団体単位での申請とし、原則1テーマ（複数の場合は優先順位付け）を選択

留意事項	内容
応募対象	博物館及び博物館館関連団体が対象となります。詳細は本資料 p.25をご確認ください。
申請単位	博物館及び博物館館関連団体等いずれの場合であっても、それぞれの施設/団体単位での申請をお願いいたします。なお、重複申請となった場合には、実証事業という本事業の性質も踏まえて、事務局において判断させていただきます。 NG例) A博物館のB課、C課からそれぞれ申請を行う
テーマ選択	1 館/団体 1 テーマでの申請をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none">• 複数テーマを希望される場合には、優先順位をつけていただきます。• 全体の選定状況により、必ずしもご希望に添えない場合がある点についてはご了承ください。

4. 応募方法

応募選定及び専門家とのマッチングに必要な情報を正確に把握する必要があるため、自由記入欄への丁寧な記入が重要

	項目	細目	記載にあたっての留意点／記載イメージ
特に重要と思われる自由記入欄における記載の考え方について	支援を受けたい内容	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> • 選択したテーマに応じて、各館における現状と課題をご記入ください。 • 適切な支援につなげていくためにも、できる限り課題を明確かつ詳細にご記入ください。 <p>※テーマ①については、現在の目録の状況、アーカイブ化したい資料の種類等まで詳細にご記入ください。</p>
		希望する支援内容・支援への期待	<ul style="list-style-type: none"> • 館のニーズを正確に把握することで適切なマッチングにつなげていくため、館の課題解決のために必要と思われる支援内容をできる限り明確かつ詳細にご記入ください。
	本業務に関わる体制	人員	<ul style="list-style-type: none"> • 本事業における課題解決の主体があくまでも館にあることを踏まえ、実際に課題解決を行う博物館側の人員体制についてご記入ください。 • 運営を指定管理者やPFI事業者が担当している場合はその旨もご記入ください。 <p>記入例：学芸員1名が他の業務と兼務して担当、学芸員3名で分野ごとに担当、専門スタッフ1名が担当、担当者不在</p>
		博物館の担当者のスキル	<ul style="list-style-type: none"> • マッチングや実際の支援を行うにあたり必要となる博物館担当者の現時点でのスキルについて、できる限り正確にご記入ください。 <p>記入例：エクセルでの基本的なデータ管理は行えるが、高度なことはできない</p>
専門家や派遣日程等の制約	N/A	<ul style="list-style-type: none"> • 専門家に関して特定のスキルやノウハウなどのご要望がある場合や、応募時点で専門家受け入れが難しい月等をご記入ください。 	

4. 応募方法

実証検証事業である本事業の性質を踏まえ、支援終了後にアンケート、ヒアリングなどを行うことを予定

留意事項	内容
事後ヒアリング	本事業は、博物館の機能強化を目指し、博物館現場に各分野の専門的人材を派遣して伴走支援を行う実証研究事業です。本事業を通じて、専門的人材育成における成果と課題を検証し取りまとめるために、事後にヒアリングを実施することがございます。ヒアリングを依頼させていただいた際には、本事業の性質に鑑み、ぜひともご協力をお願いできれば幸いです。
その他	マイクロソフトフォームでの申請が難しい場合には、事務局までご連絡ください。代替となる申請方法について別途お知らせいたします。

<参考> 実際の応募フォーム画面のイメージ

※あくまでも現時点のイメージであり、内容に変更がある可能性もありますのでご注意ください。



The image shows a screenshot of a web-based application form. The form is titled "【個別博物館 事業応募フォーム】令和6年度 博物館機能強化推進事業 (専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究)". Below the title, there is a block of explanatory text in Japanese. The form includes a section for "団体・博物館情報" (Organization/Museum Information) with four numbered items: 1. 施設名/団体名 (Facility/Organization Name), 2. 館種 (Museum Type), 3. 設置者 (Organizer), and 4. 運営主体 (Operating Entity). Each item has a corresponding input field, which is currently empty or shows a dropdown menu with "答えの選択" (Select Answer).

**【個別博物館 事業応募フォーム】令和6年度 博物館機能強化推進事業
(専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究)**

※こちらは「個別博物館 事業応募フォーム」です。
本事業は、博物館*1の現場に対象となる3テーマの専門的人材を派遣し伴走支援を通じて、学芸員等、博物館の専門的職員が課題解決に必要なスキルの習得を図ることを目的とした実証事業を通じて成果と課題を検証し、国内他館に横展開するための調査研究を行うものです。
本事業では、対象となる3テーマにおいて課題を抱えている(認識している)博物館に対して、各館のニーズを踏まえて事務局がマッチングした各分野の専門家を派遣します。派遣された専門家はその専門性を最大限に発揮し、主体的に課題解決に取り組む博物館への助言・指導・研修といった伴走支援を実施いたします。

3テーマの中から支援を希望するテーマをお選びいただき、支援を受けたい内容をご記載ください。テーマは第三希望までお選びいただき、ご応募ください。

* 必須

団体・博物館情報

1. 施設名/団体名 *

回答を入力してください

2. 館種 *

答えの選択

3. 設置者 *

答えの選択

4. 運営主体 *

答えの選択

5

質疑応答

5. 質疑応答

- ご質問がある方は、**Teamsの「手を挙げる」機能を使用**してください
- 事務局より指名された方は、博物館名/博物館関連団体名とお名前をお伝えいただいたうえで、質問を始めてください
- 多くの方が参加されているため、**質問は簡潔に**お願いいたします
- 重複した質問は避けていただきますようご協力をよろしくお願いいたします

Thank you

www.pwc.com/jp